

区政会議における2019年度（平成31年度）運営方針に関する意見への対応方針

対応方針の分類

- ①平成30年度に対応
- ②平成31年度運営方針に反映もしくは平成31年度で対応
- ③平成31年度での対応はできないが、今後引き続き検討を行う
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

資料8－2

学校教育支援

No.	意見聴取の場			意見内容	対応方針	担当課	分類	予算措置 ※①②の場合に	その後の対応状況
	開催日	会議名	委員名						
21	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	福島委員	「全国学力・学習状況調査」について、現在は毎年同じ学年でデータを取っているので、学年が上がるごとに成績がどう変化するかがわかるようなデータの取り方を工夫してもらいたいと思います。市のルールが決まっているのであれば、淀川区だけでもそのようにしていただきたいと思います。	大阪市としても、学年を追って成績が上がっていかるかどうか比較ができるように、「学校カルテ」を作成することになりましたので、今後は学年が上がることにどのように成績が変化するかを確認できるようになると思います。ただ、始まったばかりですので、学校や区役所独自で分析・活用するのはこれからになると考えております。	市民協働課 (教育支 援)	⑤		「全国学力・学習状況調査」については、毎年全国の6年生を対象とし、実施しておりますので年度ごとの状況比較となります。一方で小学校（3～6年生）においては、平成28年度より大阪市学力経年調査を実施、中学校（1～3年生）においては、大阪府中学生チャレンジテストを実施しております。これらの結果を「学校カルテ」にまとめ、学年を追って成績が上がっているかどうか比較できるようになりました。なお、経年調査・チャレンジテストともに各学校単位で活用することとなっており、他校の結果等については共有されていませんので、区一律での活用はできないルールとなっています。
22	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	福島委員	「運動が好き」と答えた子が少ないということですが、運動が好きな子は自分から進んで体を動かしていると思うので、嫌いな子がどうしたら運動に取り組むようになるか工夫する必要があると思います。そのためには、軽いダンスや軽い器械体操みたいなものを取り入れたり、運動部が行っているものよりちょっと軽く運動ができる、例えば月に3回ぐらい運動するようなクラブなど、苦手な子が興味を持ってできるようなものがあればいいのではないかと思いました。	運動が苦手な子に対してのアプローチは、非常に貴重なご意見で、次年度に向けて検討してまいります。	市民協働課 (教育支 援)	②	検討中	ご意見をいただきました直後から、運動が苦手な子でも楽しめるスポーツについて検討し、スポーツ出前講座に新たなメニューを追加することを考えました。講師との調整等が順調に進んだため、今年度（平成30年12月）より運動が苦手な子向けのスポーツ出前講座のメニュー（オーダーメイドダンス、こどもヨガ）を開始し、今年度中に9校で12講座実施予定となっております。 既実施校では、好評を得ているところです。 平成31年度につきましても、引き続き本メニューを実施する予定です。
23	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	福島委員	「ヨドジク」の参加者が少ないよう思います。せっかくいい取組なので、もう少し受講者が増えればいいのではないかと思います。	「ヨドジク」については、ご指摘のとおり参加人數が少ないところがございます。今年度から工夫したところは、今まで単年度で事業者を選んでおりましたが、3年間同じ事業者で実施することにいたしました。また、保護者の方から、「ヨドジク」を離れたところでは遊んでいるとのご意見も頂いておりますので、家でも勉強ができるような指導をしてもらうよう伝えております。	市民協働課 (教育支 援)	①	(予算措置不 要)	30年度実施から、家庭学習のサポートも指導内容に含めております。 また、後述(次々項目)のとおり、同事業者による3年間継続実施となったことにより、これまでの単年度実施では出来なかった学年をまたいだ指導や小6向けのPRなどの新たな形での広報手法にも手掛け、受講者増加に向けて本事業の取組を続けてまいります。

No.	意見聴取の場			意見内容	対応方針	担当課	分類	予算措置 ※①②の場合に	その後の対応状況
	開催日	会議名	委員名						
24	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	中道委員	スポーツが苦手な子が運動をするようになるには、淀川区の取組みでは無理ではないかと感じます。今の子どもは遊び場がなく、小さい時から好きに家の近くで遊ぶことをしていないので体力が低下しているのではないかと思いますし、結局、小学校に行くまでに運動をすることが必要だと思います。それも難しいのであれば、例えば小学校1年生は1時間目に全員で遊ぶというような思い切った取り組みを検討してみてはどうでしょうか。	何か新しい視点で進めていかないといけないと思っておりますので、日本や海外の事例も参考に検討してみたいと思っております。	市民協働課 (教育支援)	③		淀川区のスポーツ推進委員と協力しながら、ニュースポーツである「スリーアイズ」を淀川区内で広めようと取組をすすめております。スリーアイズはわざなスペースがあれば子どもから大人まで誰でも楽しむことができるバリアフリーのスポーツであり、運動が苦手な子も楽しんでもらえるのではないかと考えております。2月24日(日)開催予定の「こどもスポーツ体験DAY」の中でも、スリーアイズ体験コーナーを設けております。
26	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	岡鼻委員	「ヨドジユク」について、実施場所が十三中学校・美津島中学校・東三国中学校の3校ですが、もっと場所を分散化することはできないのでしょうか。また、この事業の周知は万全にされているのでしょうか。	学校のセキュリティに問題なく実施できる学校を選んでおります。当初は十三中学校と美津島中学校で開始しましたが、区民の方から区の東側でも実施してほしいというご意見がございましたので、東三国中学校でも実施するようになつた経過がございます。参加者はどの中学校でも参加可能で、実際には自分が通学している学校以外で受講している子どももあります。また、事業の周知については学校を通じてビラ等を配布しております。	市民協働課 (教育支援)	⑤		「ヨドジユク」の実施事業者に打診しましたが、実施場所の増加は困難とのことでした。残念ながら、現時点では未だ3校での受講者数が定員に比して充分ではございませんので、まずは現状の3校での受講者数の増加をめざし今後も本事業及び中学生の学力向上に取り組んでまいります。 事業周知につきましては、30年度から3年間同事業者で継続実施することになりましたので、平成30年12月に新年度募集用の入塾体験会の実施、平成31年1月以降の各中学校での入学説明会においてのヨドジユク案内、など過年度において実施できなかった新しい広報手法にも取り組んでおります。
27	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	泉水議長	「ヨドジユク」の実施場所に小学校を加えることはできないのでしょうか。	実施の希望があれば、検討してみます。	市民協働課 (教育支援)	① (予算措置不 要)		「ヨドジユク」の実施事業者に打診しましたが、実施場所の増加は困難とのことです。残念ながら、現時点では未だ3校での受講者数が定員に比して充分ではございませんので、まずは現状の3校での受講者数の増加をめざし今後も本事業及び中学生の学力向上に取り組んでまいります。
28	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	和田副議長	成績の表を見て、大阪市はこんなに成績が悪いのかと思いました。淀川区役所が実施している事業は学校や先生を支えるという内容なので、根本的に成績を上げたかったら、教員のみなさんを叱咤激励して、本当に成績を上げたいという先生が集まらないと改善しないのではないかと思います。	ご意見とおり、区役所はサポートしていく立場ですので、限界はあろうかと思います。区役所でできることは、学校の先生が教えることに集中していただくような環境づくりのサポートだと考えています。運営方針に記載はありませんが、たとえば、勉強に集中するのが難しいお子さんに対しての補助員であるとか、不登校等のお子さんのサポートのためのスクールカウンセラーの配置なども教育委員会とや子ども青少年局と協力して行っています。	市民協働課 (教育支援)	⑤		区役所における学力支援の方策につきましては、現状の施策に甘んじることなく改善を日々図っております。 教員が本来の役割である授業に集中できるよう引き続きサポート策を実施するとともに、家庭での学習習慣の定着等による学力向上を目指していきたいと思います。 また、各校・教育委員会だけでなくこども青少年局などの密な連携のもと、実現させていきたいと考えております。

No.	意見聴取の場			意見内容	対応方針	担当課	分類	予算措置 ※①②の場合に	その後の対応状況
	開催日	会議名	委員名						
29	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	泉水議長	昨年から学力の経年調査が始まっていますが、その結果は学校協議会で提示されたので、区役所でもそのデータを活用すれば戦略も立てやすいのではないかでしょうか。	基本的には区長宛に送られてきており、それを区長以外の職員が見てもいいか確認をして、もしいいということであれば活用したいと思っております。	市民協働課 (教育支 援)	⑤		区役所教育支援担当でデータに基づいて課題を抽出し、区長から各学校長へ意見を伝えています。 なお、経年調査の結果は各学校単位で活用することとなっており、他校の結果等については共有されていませんので、区一律での活用はできないルールとなっています。
30	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	和田副議長	淀川区役所が教育支援に関する事業に取り組んでいることを区民の方が十分にご存じないかもしれませんので、できるだけPRして事業への参加者を増やしていただきたいと思います。	「よどマガ！」や「ツイッター」などで広報をしておりますが、より皆さんに知つてもらえるために何かヒントがあれば、教えていただきたいと思います。	市民協働課 (教育支 援)	①	(予算措置不 要)	10月に実施した「平成30年度 第1回淀川区民アンケート」で、どこで区の教育支援に関する取組の情報を得たか調査したところ、広報誌『よどマガ！』からが最も多く、次いで「学校から」、「広報用ちらし・ポスター」の順でした。 この結果も踏まえ、今後、紙媒体の広報を効果的に活用しつつ、他の広報手段についても検討し、より効果的な広報ができるよう取組をすすめてまいります。
31	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	岡鼻委員	「小学生補習充実事業」について、平成29年度は10校中1校ができていなかったので、学力向上の意味からも全校で実施してほしいです。	実施していない学校の中には、この制度とは別の制度を利用したり、独自の取り組みを進めている学校もあります。実施については各学校が決定しておりますので、現在補習という観点だけで実施しておりますが、違うメニューも考えて、できるだけ学校が参加できるように働きかけを強めていきたいと考えております。	市民協働課 (教育支 援)	③		平成31年度からは11校が実施予定となり、年々参加校が増加しております。 ただ、学力向上策は各学校で創意工夫しているところで、「小学生補習充実事業」も一つのメニューととらえていただいている。
32	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	中道委員	「小学生補習充実事業」について、実施方法や効果について教えてください。	基本的には放課後に教室で有償ボランティアの方に入っていただいて、宿題や子どもたちがやりたいと思う勉強を見ています。参加対象の子どもさんや補習の内容は学校にお任せしています。効果については、平成29年度実施の参加した子どもたちへのアンケートでは、80.8%の子どもが「勉強がわかるようになった」と回答しているので、内容的には悪くなかったのではないかと考えています。	市民協働課 (教育支 援)	⑤		平成30年度に引き続き平成31年度も実施します。事前ヒアリングにおいては、区内11校が実施希望を出しており、各校種々の実施手法を探られる中、区としてもその手法を実現できるよう予算確保を講じてまいります。
33	平成30年 5月17日(木)	平成30年度 第1回 教育・子育て部 会	中道委員	「小学生補習充実事業」を今後も継続するのであれば、学校によって事情が異なるので、今のやり方で成果がなければ学校のやり方を変えるという取り組みをされたら、学力が上がるのではないかでしょうか。	効果の検証方法に課題があると思いますので、その方法については工夫しながら考えていきたいと思っております。	市民協働課 (教育支 援)	⑤		小学生補習充実事業におきましては、各校に合わせた方策を執っておりますので、その効果について各学校に確認し、今後の取組みにフィードバックするよう働きかけます。